ディーバインド製本
取扱説明書

フジプラ株式会社

取扱説明書（製本見本）の解説

ノド：筋押し加工

本文：両面マットPP加工

見返し1：光沢PP加工

見返し2：マットPP加工

製本レール

表紙：光沢PP加工

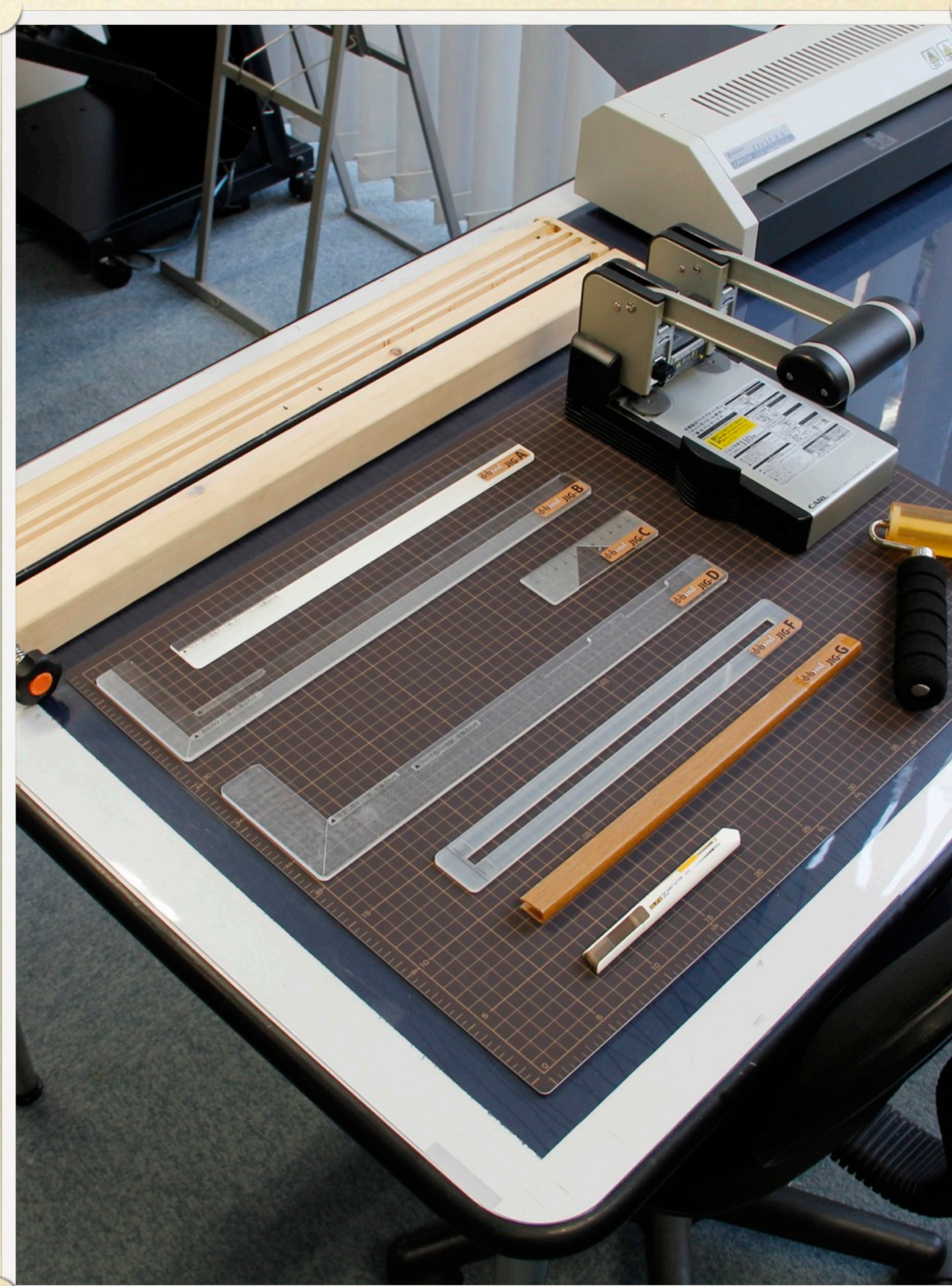
簡単だけど丈夫で本格的！
d-bind
お手軽ハードカバーバインディング

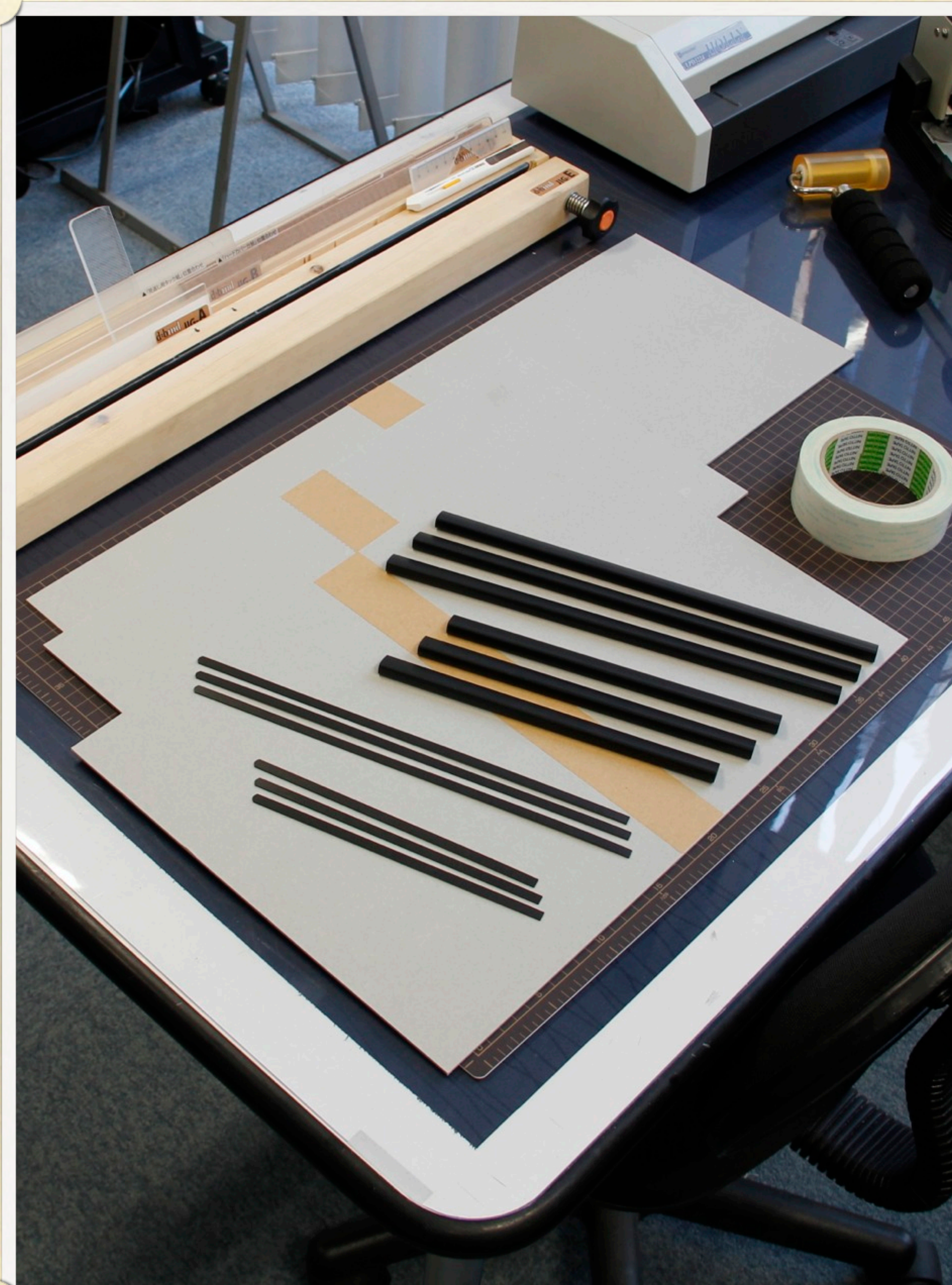
ディーバインドの特徴

- 製作が簡便で高級感のある新しいタイプのハードカバー製本です
- 製本レール使った製本の為、これまで製本が難しい用紙や加工用紙でも丈夫な製本が可能です
- 製本後でも本文の追加や差し換えを簡単に何度でも行えます
- 簡便な治具を使っての製本の為、安価な初期投資で導入が可能です

簡単だけど丈夫で本格的！
d=bind
お手軽ハードカバーバインディング

ディーバインド ツールセットの内容

- ローラー
- ハーフカット用カッター
- 治具
  - JIG-A (ハーフカット用)
  - JIG-B (台紙貼合せ用)
  - JIG-C (角切り用)
  - JIG -D (表紙折返し用)
  - JIG-E (見返貼合せ用)
  - JIG-F (製本レール位置合せ用)
  - JIG-G (背貼り用)
- 強力２穴パンチ
- カッターマットA2
- テンプレートCD(Adobe Ai型式）

ディーバインド
消耗品の内容

- ハードカバー台紙
  - 「A4よこ」、「A4たて」、「210スクエア」
- 製本レール
- 「212mm」または「196mm」
- 両面テープ
  - 36mm x 20M
- 本文綴じピン
  - 「185mm」または「280mm」
- タック紙（別売品）
  - 330mm x 488mm
  - 王子タック Nアート135推奨

ディーバインド製本の流れ

- タック紙にPOD印刷して光沢PPまたは、マットPP加工する
- 断裁して台紙に貼り合わせ、製本レールを取り付ける
- 本文を印刷して断裁、2穴パンチで穴を開け、綴じピンで綴じる
- 製本レールを使って表紙と本文を製本する

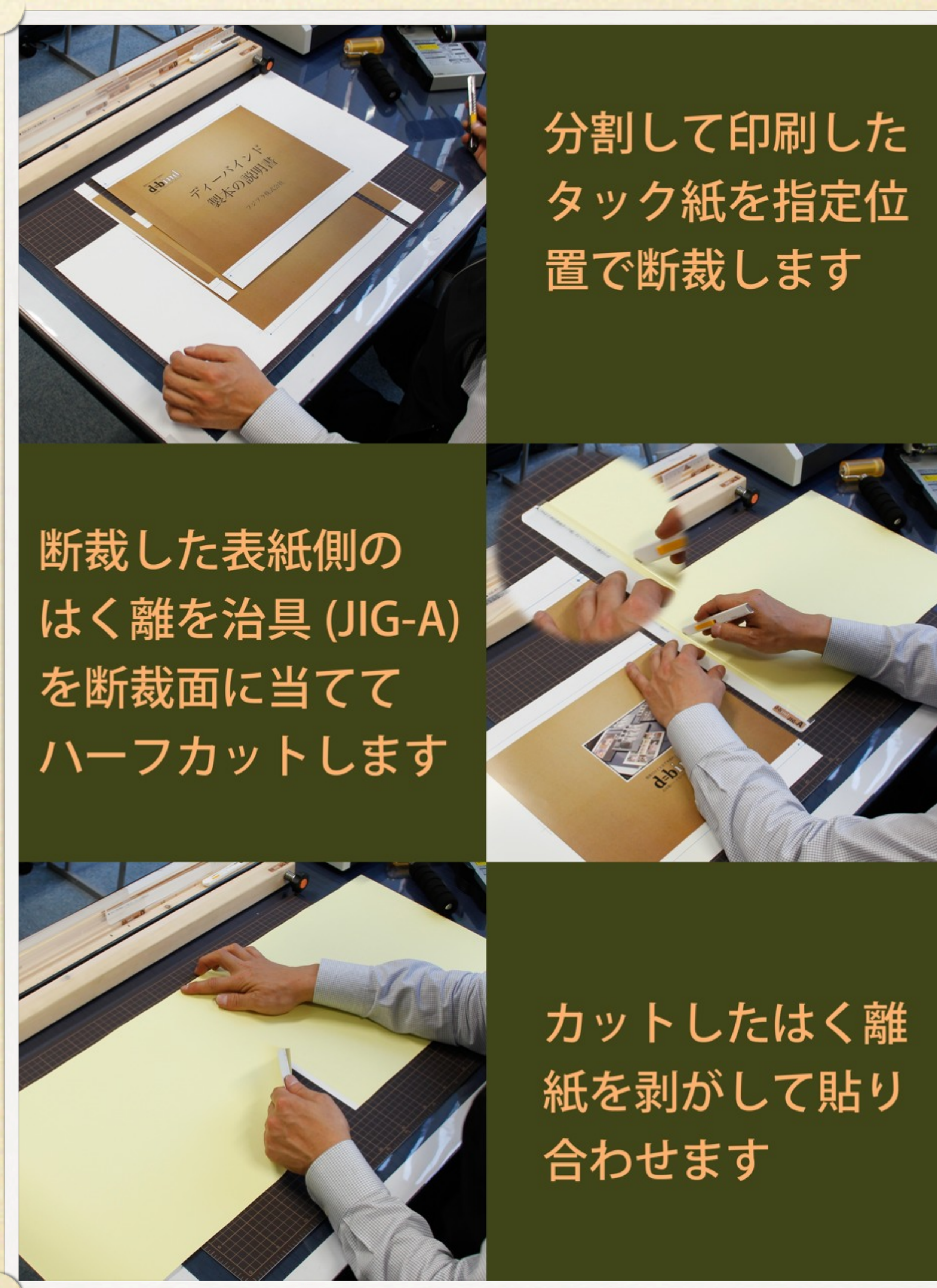
簡単だけど丈夫で本格的！
d=bind
お手軽ハードカバーバインディング

表紙、見返しを印刷する

- 表紙と見返しのデザインを付属のテンプレートデータにレイアウトします
- 推奨のタック紙にPOD印刷します
- ハードカバーのサイズに合わせて本文を印刷用紙に印刷します
  - **<u>本文の仕上りサイズ</u>**
    - 「A4よこ」210mm x 297mm
    - 「210スクエア」210mm x 210mm
    - 「A4たて」297mm x 210mm
  - **各サイズの綴じシロは15mm**

表紙、裏表紙を長尺にする
※A4よこサイズの場合（他サイズはスキップ）

- A4よこの場合は、表紙と裏表紙が分割されて印刷されるのでタック紙を指定位置（上図）で断裁します
- 表紙用のタック紙のはく離紙をハーフカット用カッターと治具(JIG-A)を使ってハーフカットします
- ハーフカットは断裁辺と平行に10mm
- はく離紙をはがして表紙とうら表紙を貼り合わせます

簡単だけど丈夫で本格的！
d-bind
お手軽ハードカバーバインディング

ラミネーターでPP加工をする

- 「表紙」と「見返し」を印刷したタック紙（または前頁で長尺にしたタック紙）に「プラスターPLS3312」PP加工ラミネーターで光沢またはマットPP加工をします
  - プラスターPLS3312は、この他にも様々なオンデマンド印刷物に使用が可能です
    - POP、メニュー、カード、名刺、パッケージ、表紙等

簡単だけど丈夫で本格的！
d=bind
お手軽ハードカバーバインディング

表紙と見返しを断裁する

- PP加工を施したタック紙の「表紙」と「見返し」を指定位置(内トンボ）で断裁します
  - A4よこ断裁サイズ
    - 表紙サイズ　横610mm x 縦246mm
    - 見返しサイズ　横302mm x 縦210mm(2枚)
  - 210スクエア断裁サイズ
    - 表紙サイズ　横466mm x 縦246mm
    - 見返しサイズ　横430mm x 縦210mm
  - A4たて断裁サイズ
    - 表紙サイズ　横466mm x 縦330mm
    - 見返しサイズ　横430mm x 縦294mm

表紙を合紙する①

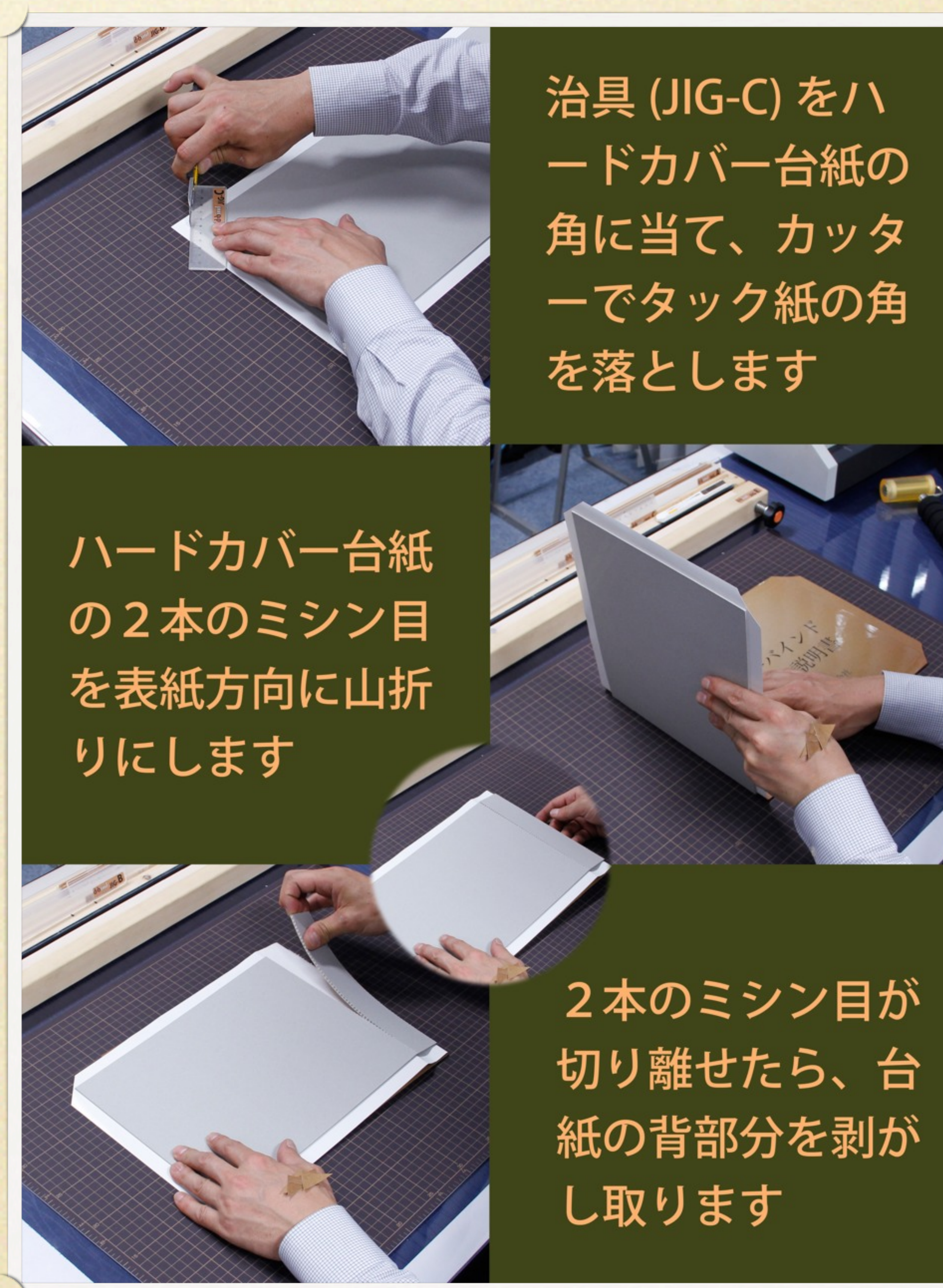
- 断裁した表紙のタック紙のはく離紙を剥がし、はく離紙側を上にしてカッターマットの上に置きます
- 治具(JIG-B)をタック紙の左下に合わせて置きます
- ハードカバー台紙を治具(JIG-B)に合わせて置き、ローラーでシッカリと表紙と貼り合わせます

表紙を台紙する②

- 角切り用治具(JIG-C)をハードカバー台紙の角に当て、お手持ちのカッター等で台紙に貼り合わせた表紙用タック紙の角を落とします

- ハードカバー台紙の２本のミシン目を表紙方向に山折にして台紙を切り離します

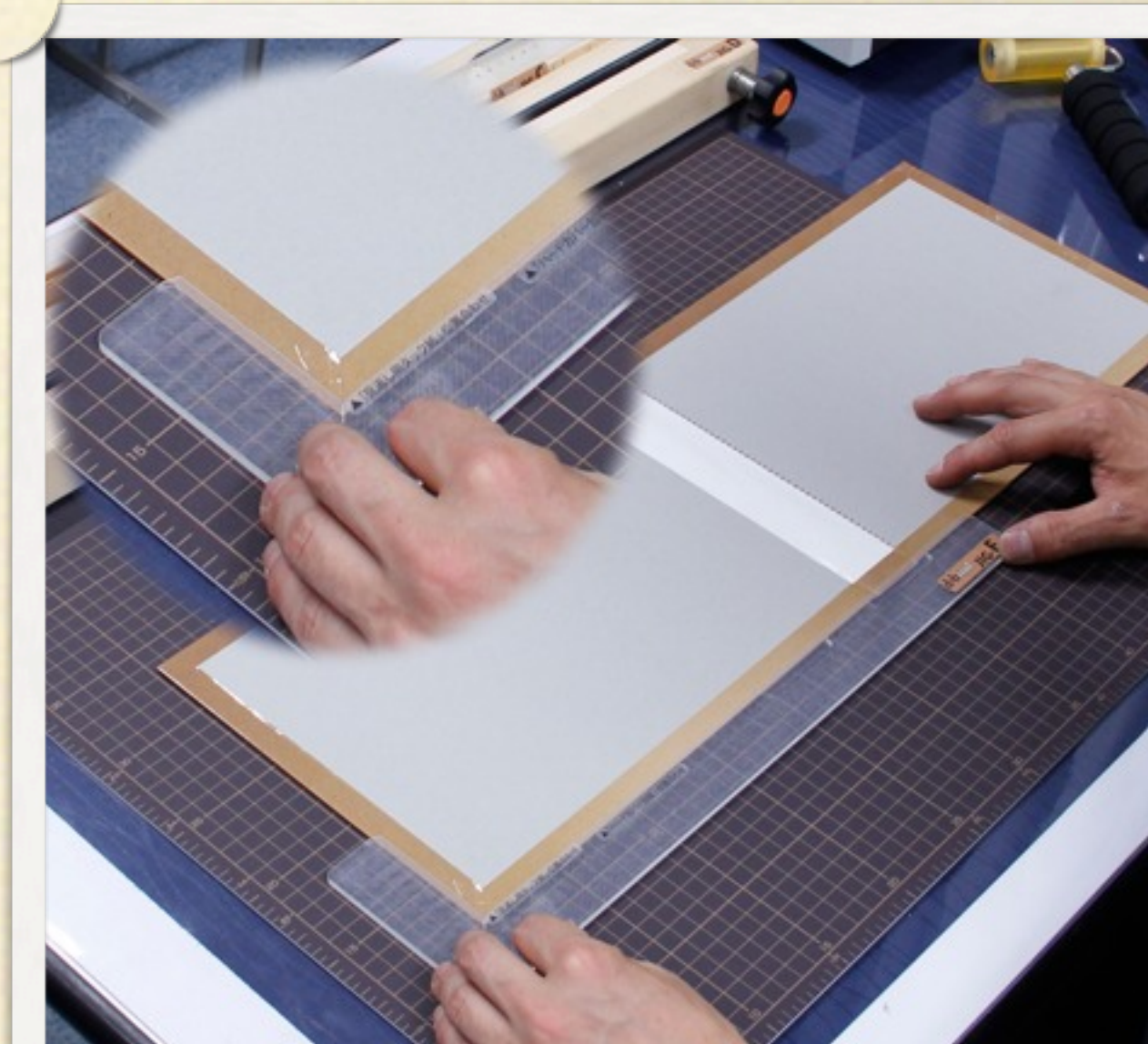
- ハードカバー台紙の背部分（2本のミシン目の間）を剥がし取ります

簡単だけど丈夫で本格的！
d=bind
お手軽ハードカバーバインディング

表紙を仕上げる

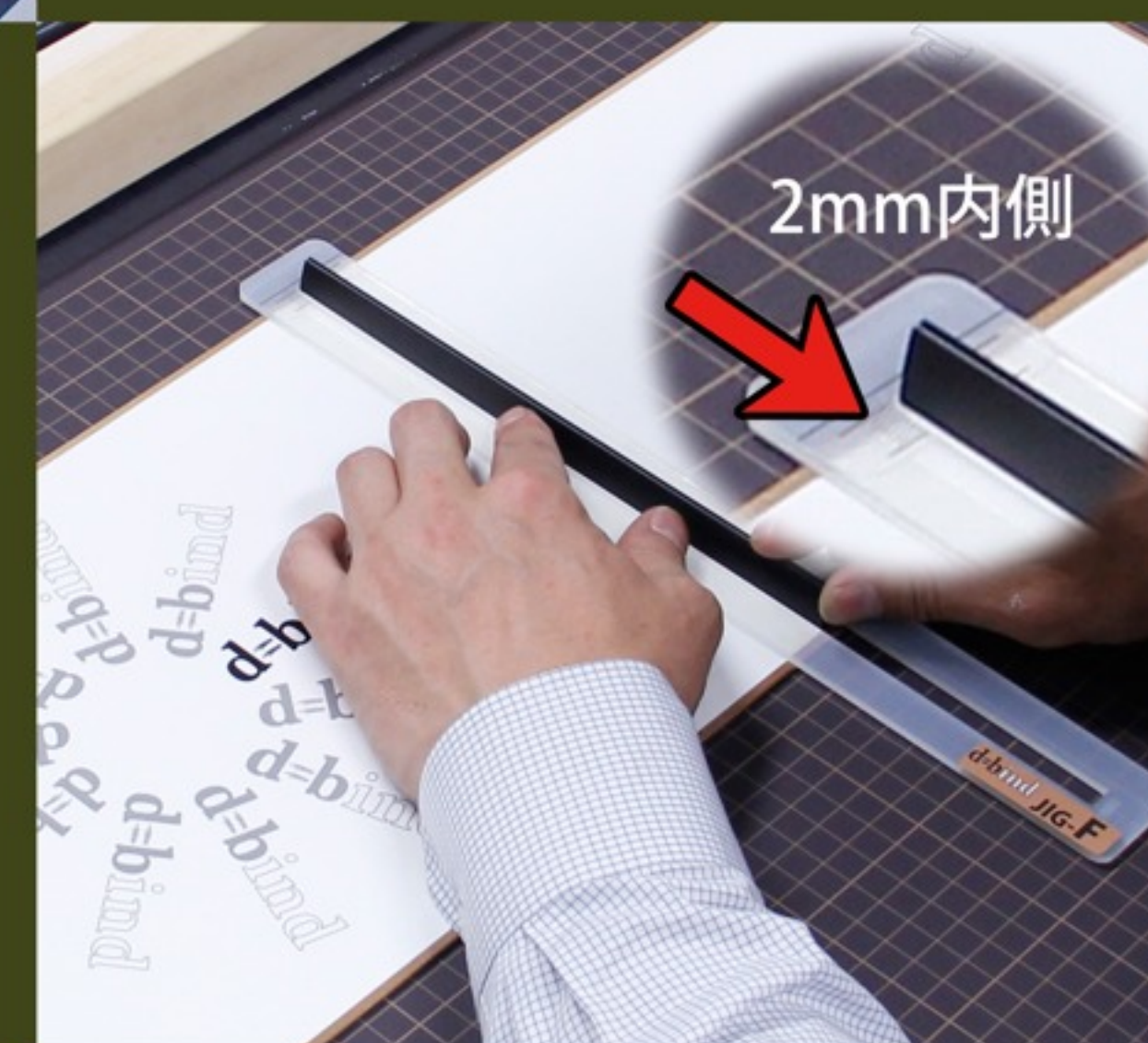
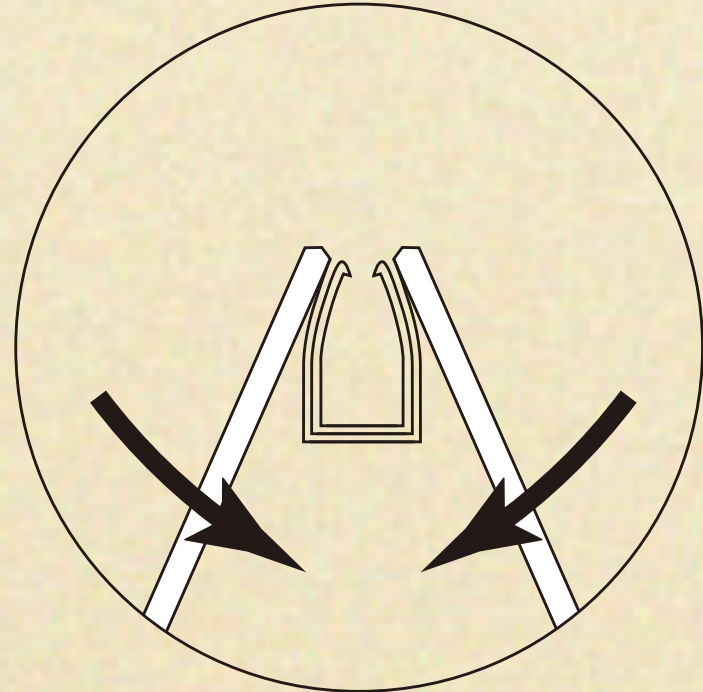
- 天地のタック紙を角付けをしながら治具(JIG-D)に差し込んで折り返しローラーで貼付けます
- 小口のタック紙の角を内側に折り込みます
- 小口のタック紙を角付けをしながら治具(JIG-D)に差し込んで折り返しローラーで貼付けます

簡単だけど丈夫で本格的！
d=bind
お手軽ハードカバーバインディング

見返しをつける

- 表紙のタック紙を貼った台紙を裏返して見返し用の治具(JIG-E)を左下に合わせて置きます
- 見返し用タック紙のはく離紙をはがして台紙の裏面に治具の左下に合わせて貼り合わせます
- ローラーを使って見返し用タック紙をしっかりと貼付けて背部分を順に表裏両方向から角付けします

製本レールを取付ける

- 角付けした背部分に見返しと同じ長さに切った両面テープを貼付けます
- 両面テープのはく離紙をはがして角付けした折線に合わせて治具(JIG-F)を置きます
- 製本レール上下に表紙から2mmの余白が出来るように治具の切込み部分に製本レールを差し込みます
- 差し込んだ製本レールの背をしっかりと両面テープに貼付け、治具を外します
- 表紙を製本レールを包込むように２つ折にします
- 治具(JIG-G)を背部分に外側からかぶせ、その上からローラーでしっかりと固定します
- 最後に、表紙を写真のように立て、製本レールをしっかりと接着します

簡単だけど丈夫で本格的！
d-bind
お手軽ハードカバーバインディング

本文を綴じ製本する

- A4(210mm×297mm)またはスクエア(210mm×210mm)に本文を断裁します
- 強力２穴パンチで本文に穴を開けます
- 開けた穴に綴じピンを差し込み本文を綴じます
- 表紙を大きく開き製本レールのスリット部分を開きます
- 綴じた本文をスリット部分にスライドさせながら差し込み製本完了です

+αテクニック

簡単だけど丈夫で本格的！
d-bind
お手軽ハードカバーバインディング

本文の耐久性を上げる

- 印刷した本文を断裁する前に両面をPP加工します
- その後の手順は説明書の手順で行ってください
  - 表紙や見返しと同じように本文の両面にPP加工を施す事が出来ます
  - 本文をPP加工すると高級感や耐久性が向上します
  - PP加工は光沢、マットタイプとも使用可能です

簡単だけど丈夫で本格的！
d=bind
お手軽ハードカバーバインディング

本文を固定する

- 本文の取り外しが出来ないようにする場合
- 本文綴じピンを通した後、付属の両面テープを綴じピンを包むようにして３カ所貼付けます
- 両面テープのはく離紙を剥がして製本レールに通して外側から固定します

本文を180°開くようにする

- 本文を断裁し穴あけをしてからノドと平行に（ノドから15m）スジ押し機でスジを入れるとページが180度開きます
  - スジ押し機は市販の物をご使用ください

簡単だけど丈夫で本格的！
d=bind
お手軽ハードカバーバインディング

ハードカバーを圧着する

- ハードカバーの貼り合わせにホットラミネーターを使用するとタック紙と台紙が強力に接着して耐久性と仕上がりが向上します
    - 使用できるラミネーターは当社または、販売店までご相談ください

簡単だけど丈夫で本格的！

d=bind

お手軽ハードカバーバインディング